

自己評価・外部評価・運営推進会議活用ツール

No.	タイトル	評価項目	自己評価	記述	運営推進会議で話しあった内容	外部評価	記述
I. 理念・安心と安全に基づく運営							
1	理念の共有と実践	地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	A. 十分にできている ⓑ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	独自の理念に沿った介護を心がけている。			
2	事業所と地域とのつきあい	事業所は、利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、認知症の人の理解や支援の方法などを共有し、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	A. 十分にできている ⓑ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	町会に加入し、地域の様々な情報を回覧板や地域の方から入手し、参加させて頂いている。また、花園便りを配布し回覧してもらっている。また地域の行事予定を情報提供して頂いている。 ※現在コロナの影響で地域の行事は中止となっている。	地域通信でどのような生活をしているのか写真が載っているのわかりやすい。コロナ禍で行事等が出来ないことが多いが、コロナが治ればまた再開したい。		
3	運営推進会議を活かした取り組み	運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	A. 十分にできている B. ほぼできている Ⓒ. あまりできていない D. ほとんどできていない	運営推進会議を通じ、グループホームの実態を細部に至るまで知って頂き、逆に地域の方からアドバイスや支援を頂いている。2ヶ月に1回行っている。 ※現在はコロナの影響で開催できていないが、議事録を作成してお渡している。	コロナ禍で、皆さん集まっての開催が難しく、またオンラインの環境が整っていない方もいるため、議事録を作成しお渡している状態です。配布時にご意見を頂いたりしています。		
4	市町村との連携	市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	A. 十分にできている ⓑ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	こちらの必要な情報を伝えることにより、介護保険適応施設として、必要な知識や質問等にも答えて頂いている。	市町村と連絡を取り合い、よりよく生活してもらえたら助かります。		
5	身体拘束をしないケアの実践	代表者および全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	A. 十分にできている ⓑ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	身体拘束はしていない。 外出の多い利用者に関しては、みつめてネットや地域へも情報を発信して協力を求めている。 玄関の施錠は行っていない。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
6	虐待の防止の徹底	管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることのないよう注意を払い、防止に努めている	A. 十分にできている ⓑ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	コロナ禍でもあり、外部研修で学ぶことができなかったが、グループホーム内で話し合い、共有し周知徹底している。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	

7	権利擁護に関する制度の理解と活用	管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	支援が必要な人には関係機関からの情報収集を行い、活用できるよう必要な協力は常に行っている。			
8	契約に関する説明と納得	契約の締結、解約また改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	契約時に文章、口頭の両方で十分に説明を行うと同時に、利用者や家族等にも質問や不安はないか確認をしっかりと行っている。			
9	運営に関する利用者、家族等意見の反映	利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入居契約時「運営」に関し説明を必ず行います。家族会でも要望・意見等を聴き、グループホーム運営に反映させている。職員会議で家族からの要望意見を発表し、職員にその実行性を担保している。運営推進会議でも家族からの意見要望について発表し、対応策を説明している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない		
10	運営に関する職員意見の反映	代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	代表・管理者は職員の意見・提案は前向きで聞き入れ、改善点・新たな取り組みについては、職員全体会議で討議し、実行・実践化している。			
11	就業環境の整備	代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	代表は職員の待遇については、最大の努力をしており、「花園の里に勤務して良かった」と感じられる職場作りに努めている。代表・管理者は常に職員の耳に傾け、その意見を運営に反映させている。	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない		
12	職員を育てる取り組み	代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	個々が希望とする研修や、必要と思われる研修に参加し、会議で学んだことを報告してもらい、全員で共有している。 ※現在はコロナ対策の為、研修への参加は控えている。	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない		
13	同業者との交流を通じた向上	代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	他施設研修やグループホームの意見交換会に参加、自己研さんに努めている。 ※現在はコロナ対策の為、研修への参加は控えている。			

14	本人と共に過ごし 支えあう関係	職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	A. 十分にできている Ⓑ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	日々のコミュニケーションの中から利用者の思いを聞きだし、実現に繋げている。 暮らしを共にするものとして、出来る部分(食事の準備、後片付け、掃除、洗濯物干し、たたみ等)で助けてもらっている。			
15	馴染みの人や場との 関係継続の支援	本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	A. 十分にできている B. ほぼできている Ⓒ. あまりできていない D. ほとんどできていない	コロナ禍の中、面会の難しい時でもあるので携帯電話でのビデオ通話や窓越しでの面会を声掛けにし関係が途切れないように支援している。	コロナ禍で面会ができていないため、家族の顔を忘れてしまうのではないかと不安がある。通信などでどう過ごしているかそれなりにわかるが、やはり、様子が気になります。		
Ⅱ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント							
16	思いや意向の把握	一人ひとりの思いや暮らし方、生活環境、一日の過ごし方の希望や意向の把握に努めている。	A. 十分にできている Ⓑ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	“一人ひとりの思いを、言葉や表情、行動からくみ取り意思確認する様に努めている。思いや意向を伝えるには、ケアカンファレンスでどのように対応して行くかスタッフ間で話し合っている。			
17	チームでつくる介護計画とモニタリング	本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	A. 十分にできている Ⓑ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	“家族や知人の面会時には、これまでの暮らしぶりの情報を収集する様に努めている。 センター方式を用いて把握に努めている。”	コロナ禍で面会ができていないため、家族の顔を忘れてしまうのではないかと不安がある。通信などでどう過ごしているかそれなりにわかるが、やはり、様子が気になります。	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
18	個別の記録と実践への反映	日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	A. 十分にできている Ⓑ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	日々の様子、言動や表情を記録し本人の思いやスタッフのきずきを色を変えて記入し、記録をスタッフ間で共有しながら、ライフサポートプランを作成し、実践や見直しに活かしている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
19	一人ひとりを支えるための事業所の多機能化	本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	A. 十分にできている Ⓑ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	面会時間や外出、外泊の回数に制限はなく、当日の急な要望にも対応している。 その家族の思いにも添える様に対応している。今回はコロナ禍で制限も多くあり難しかった。制限解除になれば柔軟な対応に取り組んでいきたい。	決まった暮らしではなく、何をしたいか話を聞いて、楽しく生活を送ってもらえるよう今後も頑張っていって欲しい。		

20	地域資源との協働	一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	見つけてネット、集会所の利用、保育所との合同避難訓練、地域の夏祭りへの参加に利用者の希望を聞きながら参加している。今回はコロナにより地域資源を利用出来なかった。	花園フェスティバルや保育所の訪問などいつも楽しみにしている行事が開催できず残念。早く以前のように参加できることを願いたい。		
21	かかりつけ医の受診支援	受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	24時間体制の訪問医療と契約できるように、入居時に説明をしている。本人、家族等の希望を聞き、協力医療機関の受診を支援している。また症状に合わせて専門医の受診を働きかけ支援している。月に一度、家族に受診報告書を送っている。			
22	入退院時の医療機関との協働	利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入院時に介護サマリーを提供している。面会時に様子を聞く等し、家族も含め病院関係者との情報交換を行っている。家族とも連携し、早期退院に向け働きかけを行っている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
23	重度化や終末期に向けた方針の共有と支援	重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	本人の希望を事前に聞きだし、必要に応じて本人、家族、スタッフ、医師と話し合いながらチームで支援できるよう努めている。安心してターミナル期をむかえられるよう、チーム連携し支援している。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
24	急変や事故発生時の備え	利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	職員は全員定期的に救命講習を受講している。職員は利用者の急変や事故発生時に備えてフローチャートを用いて緊急に備えている。今回はコロナの為、救命講習の受講はなかった。			
25	災害対策	火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	年に2回、避難訓練を実施している。地域の参加で協力体制を築いている。保育所との共同訓練も行っている。火災に関しては、自動通報連絡システムやスプリンクラーを設置している。現在はコロナ禍でもあり、消防署との相談の上、自主訓練となりました。	地域の方や保育所にも参加して避難訓練をしているのは何かあった時に安心。コロナが治まればまた再開して欲しい。	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	

Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

26	一人ひとりの尊重とプライバシーの確保	一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	A. 充分にできている Ⓑ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	丁寧な言葉かけで、プライバシーを配慮した対応に努めている。耳の遠い方、言葉が伝わりにくい方にはその方にあった話し方で言葉かけを行っている。目上の人としての人格を尊重している。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
27	日々のその人らしい暮らし	職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりの日常生活における希望や意向、暮らしのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	A. 充分にできている B. ほぼできている Ⓒ. あまりできていない D. ほとんどできていない	突然の要望(ドライブ、買い物、散歩、入浴)にも添えるように利用者のペースを大切に、柔軟に対応出来るよう心掛けている。			
28	食事を楽しむことのできる支援	食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	A. 充分にできている Ⓑ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	買い物や食事の準備、後片付けを職員と利用者が一緒に行っている。季節の食材を使ったり、行事食も大切に楽しめるよう支援している。献立表を用い同じメニューにならない様工夫している。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
29	栄養摂取や水分確保の支援	食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	A. 充分にできている Ⓑ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	献立表でバランスよく食事ができるように考えている。月1回、体重測定で増減のチェックをし一人ひとりの状態を把握している。状態や力、習慣に応じた食事形態も工夫し栄養摂取しやすいように考慮している。量も調節している。(お粥、刻み、トロミなど) 栄養補助食品も利用している。			
30	口腔内の清潔保持	口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	A. 充分にできている Ⓑ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	就寝前の義歯洗浄は徹底して行っている。自立している方に関しては口腔ケアの声かけや不十分などところがあると声かけしている。出来ない方は介助により行っている。食後にお茶を飲む事を進めている。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
31	排泄の自立支援	排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援、便秘の予防等、個々に応じた予防に取り組んでいる	A. 充分にできている Ⓑ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	本人の排泄パターンに合わせトイレの声かけを行い、トイレでの排泄の自立に向けて支援している。個々の排泄パターンを知り、トイレで排泄が行えるよう、時間を見てトイレに案内している。そういう素振りが見られる方には、さりげなくトイレに案内している。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
32	入浴を楽しむことのできる支援	一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	A. 充分にできている Ⓑ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	利用者の希望に添って入浴して頂けるように努めている。自ら希望されない利用者についても、本人の意思を確認した上で、入浴して頂いている。利用者同士も誘ったり譲りあったりして。季節によりしょうぶ湯やゆず湯を楽しむ。			

				んでいる。			
33	安眠や休息の支援	一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	A. 十分にできている Ⓑ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	居室の温度や寝具などで調節をし気持ちよく眠れるよう支援している。 体調変化の把握と共に個別に休息を取り入れている。 休みが必要な方には、適宜休息するよう声かけしている。			
34	服薬支援	一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	A. 十分にできている Ⓑ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	服薬情報を個々の記録ファイルに閉じ、いつでも確認できるようにしており、飲ませ忘れや誤薬の無いように努めている。配薬確認、服薬後確認は複数人で管理を行う。本人にも確認してもらう。 変化がある時は記録に残し、医師や看護師に相談している。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
35	役割、楽しみごとの支援	張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	A. 十分にできている Ⓑ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	本人の思いを探り、やりがいを持って、できる役割を見つけられるように支援している。食事作りや後片付け、掃除や洗濯物干し、たたみ、散歩等日常生活に取り入れている。買い物や外出が好きな方とは一緒に出かけている。カラオケの好きな方は、歌える環境を整えている。	今までやっていた事いつまでも出来るようになるでもさせて欲しい。自信にもつながると思う。いろんなところに出掛けたり、美味しい物を食べたりして元気に過ごせるよう今後もお願いしたい。		
36	日常的な外出支援	一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている Ⓒ. あまりできていない D. ほとんどできていない	何気ない本人からの一言でも出掛けるように支援している。毎年恒例の花見や紅葉狩りに出かけている。出来るだけ全ての人に声掛けし、お出掛けを支援してる。	コロナ禍で外出の難しい時であったが、車中からの季節の移り変わり感じる事が出来るようなドライブに出かけられ、嬉しいことです。		
37	お金の所持や使うことの支援	職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	A. 十分にできている Ⓑ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	所持できない方も、買い物では一人ひとりの買いたい物を確認し、お金を使える様に支援している。希望がある時は買い物に出掛け、自由に使えるように支援をしている。			

38	電話や手紙の支援	家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	家族、友人、知人からの電話を歓迎し、利用者からも電話をかけられるよう支援している。ビデオ通話もできるように支援している。携帯電話を所持している方もいて、家族や友人と自由に連絡を取っている。使用に困難な時は、スタッフが説明や操作を手伝い支援をしている。			
39	居心地のよい共用空間づくり	建物内部は一人ひとりの身体機能やわかる力を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。共用の空間が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、一人ひとりが居心地よく過ごせるような工夫をしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	利用者が自分の力を活かして動けるような物(歩行器、シルバーカー)の使用や、個人に合わせた居室の環境整備に心掛けている。建物内部は手すりが設置されている。家具等もつかまりやすいように配置している。浴室やトイレ、居室には本人の了解を得てプレートを下げ、分かりやすいように工夫している。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	

IV. 本人の暮らしの状況把握・確認項目(利用者一人ひとりの確認項目)

40	本人主体の暮らし	本人は、自分の思い、願い、日々の暮らし方の意向に沿った暮らしができている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない				
41		本人は、自分の生活歴や友人関係、暮らしの習慣、特徴など様々な情報をもとに、ケア・支援を受けることができている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない				
42		本人は、自分の健康面・医療面・安全面・環境面について、日々の状況をもとに、ケア・支援を受けることができている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない			A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
43	生活の継続性	本人は、自分のペースで、これまでの暮らしの習慣にあった生活ができている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない				
44		本人は、自分のなじみのものや、大切にしているものを、身近(自室等)に持つことができている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない			A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	

45		本人は、自分の意向、希望によって、戸外に出かけることや、催(祭)事に参加することができる	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない				
46		本人は、自分ができること・できないこと、わかること・わからないことを踏まえた、役割や、楽しみごとを行うことができる	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない				
47	本人が持つ力の活用	本人は、自分がいきいきと過ごす会話のひと時や、活動場面を日々の暮らしの中で得ることができる	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない			A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
48		本人は、自分なりに近隣や地域の人々と関わったり、交流することができる	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない				
49	総合	本人は、この GH にいることで、職員や地域の人々と親しみ、安心の日々、よりよい日々をおくることができる	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない			A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	